

# 定期学習会の記録

2008/09/27 尾間木公民館

## [参加者]

阿部 片田 高橋 鈴木 佐藤圭一 大内 佐藤 三浦 金子  
福島 神戸 河野 小松原

## ■自己紹介

新しいメンバーを迎えて

## ■カンボジアの報告（金子）

学校の様子、街の様子、アキラの地雷博物館、トンレサップ湖など

## ■数字で知ろう、世界のともだち

### ○5歳未満児死亡率の順位

1. シエラレオネ
2. アンゴラ
3. ニジェール
4. アフガニスタン
5. リベリア                      日本187位                      カンボジア35位

→なぜか？

食べ物が無い、戦争、衛生状態が悪い…など

→「なぜか」と考えることが、学習。

○成人の識字率

○低体重児

○改善された水源の利用比率 …トイレ、飲み水

○予防接種の比率

○初等教育就学率 …男女の差がある

## ■ここからわかったこと、感じたこと、思ったことなど

・日本の所得はなぜ上がったのか。

・5歳未満死亡率20位くらいまでは、所得が400ドルに届いていない。

・5歳未満死亡率、4人に1人などが目につく。予防接種などをすれば…  
→自分たちに置き換えて考えてみると、恐ろしいことだ。

・自分が大切にできないと周りも大切にできないと思う。

- ・世界全体としては、まだそんなに変わっていない感じを受ける。
  - ・日本の平均余命を見て。100歳以上の人もたくさんいるから、逆に早く死んでしまう人もいるのではないだろうか。
  - ・死亡率が多いのはアフリカ。下がっているものの、まだまだ。支援が必要だ。
  - ・カンボジアと日本の死亡率を比べると、日本は平和だなと思う。他の国と比較するとわかる。
  - ・初等教育就学率を見ると、普通に学校に行けることが幸せだと感じた。
  - ・アメリカの就学率は90%程度というのが気になる。
  - ・100%の就学率だが、学校に行きたくない子もいる…という状況が残念。カンボジアの子供たちの目は純粋に学びたいという気持ちが伝わってきた。学校に通う、知る楽しさを知っているのだろうなと思った。仕事をしている子供もいるので、データを見て一概に考えるのではなく、現地に行ってみる必要があるのだろう。
  - ・与えられすぎていると、自分から進んでやるという根っこの部分が育たなくなる。
  - ・出生率と死亡率の関係が見える。
  - ・学校に満足している割合。カンボジアはほぼ100%。日本はどうだろう？  
→視点を調べてみると……  
カンボジアなどは、国を作りたくて勉強している。役に立ちたくて勉強している。  
日本は…仕方ない、なんとなく…？  
国が何を教えるのか、ということを考えないといけない。
  - ・「死にたいと思ったことがある」というアンケートをとっても、同じように逆のデータが出るかもしれない。
- 戦争、子どもの教育、歴史教育などの話
- ・どういう立場であっても、「おかしいことはおかしい」と思える感性を持ってほしい。

□次回予定 10月4日(土)